

会長挨拶

暦の上では春を迎えているとはいえ記録的な大雪に襲われたり、5月下旬並みの暖かさに包まれたりと不安定な気候が続く今日この頃ですが、会員の先生方におかれましてはご健勝にてのご活躍のことと拝察申し上げます。

本年度は診療報酬改定の年でありましたが、「史上最悪の改定」ともいえるような結果になってしまったことは、会員の先生方も周知のことと存じます。医療機関潰しに国はいよいよ本腰を入れ始めたを受け止めずにはられない状況であります。

そのような情勢の中で、本年度も埼玉帝京医会総会・懇親会を開催いたしました。本学から診療担当副院長・外科学講座主任教授であられる深川剛生先生をご来賓としてお招きし、医療連携室より「栗山田コンビ」でおなじみの栗山剛樹課長と山田翼係長のご出席も賜りました。今回は1期生で本会副会長であられる栗原平先生が春の叙勲におきまして瑞宝双光章を受章されその受章祝賀の会にもなりました。終始フリートークに時間が流れ、盛会にて終了となりました。

令和7年度も引き続きましての会員の先生方のご協力、ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

医療法人刀水会 齋藤記念病院 理事長 齋藤 卓

令和6年度 会計報告

※令和6年4月1日～令和7年3月31日(単位:円)

収入	第26回総会 総会収入	143,000
	年会費収入 72名	360,000
	郵便局利子	1,002
支出	役員会経費	57,321
	総会 第26回総会経費	244,784
	送付代	19,020
	消耗品費	2,284
	ホームページ維持経費	139,150
	硬貨入金手数料	510

収入支出合計 (収入)504,002 (支出)463,069

収入支出差引残額 40,933

令和5年度繰越金 1,528,851

収入支出差引金額 40,933

令和6年度繰越金 1,569,784

第27回 総会について

毎年7月に行われます「埼玉帝京医会総会」につきましては、

令和7年7月5日(土) 19:00～

パレスホテル大宮3階「銀杏の間」を予定しております。

第26回総会報告 令和6年7月13日 於 パレスホテル大宮



総会にはお忙しい中、深川剛生外科学講座主任教授にご出席を賜り、盛大裏に開催することができました。多数のご来賓を賜りとても有意義な会となりましたことを心より御礼申し上げます。

ブロック長挨拶

＜東ブロック＞ 岩槻南病院 理事長 丸山泰幸

埼玉帝京医会の皆様いつも大変お世話になっております。東ブロックの丸山泰幸です。先生方もお分かりのように現在医療を取り巻く環境は大変厳しくなっております。昨年の診療報酬改定も+0.88%と何とかプラス改定になったもののほとんどが看護師を含む医療従事者の処遇改善に充てられ我々医師に対してはむしろマイナス改定であったと思わざるを得ない結果となっております。昨今物価の上昇に対しても診療報酬の上乗せは無く、そのような状況で今回の改定に関しても財務省はまだ我々医師に対し厳しい裁定をされることが予想されます。やはり医師会が一枚岩となって強く訴える必要があると考えております。そのようなことから埼玉帝京医会もこれからも一致団結してお互いに切磋琢磨していければと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

＜西ブロック＞ 坂戸中央クリニック 院長 関根勝

埼玉帝京医会の皆様、こんにちは。西ブロック長の関根です。COVID-19の大流行は収まったものの、実臨床ではまだまだ一般の患者と発熱者、風邪症状の方の導線は分けて診療をしています。長かったCOVID-19流行の影響を受けて3月まではウイルス性胃腸炎、最近、特に小児科領域で百日咳、伝染性紅斑の流行が顕著になっています。そんな中で国立大学の附属病院を含めて一般医療機関の赤字決済という、厳しい経営状況が報じられています。経済物価高騰に見合った医療報酬の引き上げがなされないための結果と考えますが、少子高齢化の影響もあって介護福祉関係の医療費増と看護師を含む医療人材不足と泣き面面にハチの状態です。こんな苦言ばかりで西ブロックでは何も出来ておりませんが、昨年の栗原先生に引き続いて、北ブロック長の正田先生が藍綬褒章を受章されました。誠にめでとうございます。地域医療への絶え間ない貢献が認められた事と考えています。今後も毎年帝京大学出身の先生方のご活躍を期待致します。医療に対する国の方針や考え方がもう少し現場に見合った内容となる事を希望せざるを得ません。

＜南ブロック＞ 与野中央病院 理事長・院長 関場秀高

令和6年度の活動報告及び令和7年度に向けての豊富

埼玉帝京医会の皆様、南ブロックの関場秀高です。私は平成7年に帝京大学精神神経科学教室に入局し、同教室での研修終了後、他院精神科病院勤務を経て、平成10年に医療法人社団恵仁会与野中央病院に勤務し、現在同法人理事長・病院長です。現状において、さいたま市にて地域精神科医療臨床に従事し、統合失調症やうつ病や躁鬱病等の感情病圏といわれる疾病と共に、アルコール依存症における断酒ないしは減酒を行いアルコール嗜癖からの回復を図る臨床を行っています。上記と共にさいたま市においては、さいたま市の精神科病院と精神科クリニック及び身体科、特に自殺企図患者を扱う救急救命科をさいたま市に連携をつけながら自殺対策を行う事業においても関連させていただいております。令和7年度においても、さいたま市の地域精神科医療を軸としながら関われる事を主に対応させていただきます。アルコール嗜癖を例にとりましても、コントロール飲酒障害が疾病の本質ではありますが、断酒のみでなく減酒からのアプローチも取る様に精神科臨床も日々の変化を認識しながら、精神科臨床医として今後も臨床に携わっていければと思っております。

＜北ブロック＞ 正田眼科 院長 正田 政一郎

埼玉帝京医会の皆様、北ブロックの正田です。昨年5年ぶりに埼玉帝京医会北ブロック講演会、親睦会を埼玉グランドホテル深谷にて開催しました。講演会は、帝京大医学部20期生、上尾中央総合病院整形外科、副院長 印南健先生を招いて「日常診療における足関節捻挫の治療と慢性疼痛の管理」と題して講演を行っていただきました。もちろん会のメインである親睦会にも参加していただきました。参加人数は10名程と少なめでしたが、会を開催できたことは良かったと思っております。今年も開催予定ですので多くの参加をお待ちしております。さて筆者の地元深谷市では昨年7月、郷土の偉人渋沢栄一肖像の新紙幣が発行され、市ではお祭り状態が続いております。その一環で本年3月8、9日に将棋の藤井聡太王将に永瀬拓矢九段が挑戦する王将戦第5局がなんと渋沢栄一生涯家の中の家（なかんち）にて行われ、結果は藤井聡太王将が勝ちタイトル防衛4連覇を達成しました。筆者も前夜祭に参加して参りました。渋沢栄一の基本理念は、まごころと思いやりを表す「忠恕」にあり、利潤の追求の根底には道徳が必要であり、人類全体の繁栄に対して責任をもたねばならないという「道徳経済合一説」です。昨今世界を騒がしている超大国の国家元首達には、渋沢栄一の爪の垢を煎じて飲ませたいです。

事務局より

会員の先生方に支えられ、当会は発足から27年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。事務局では、先生方のご意見をお待ちしております。なお、連絡先に変更が生じた場合や、入会をご希望の先生をご紹介頂けます場合は、事務局までご連絡下さい。ご協力の程、よろしくお願いいたします。 問合せ先 〒335-0002 埼玉県蕨市塚越7-31-10

埼玉帝京医会事務局 和幸商事株式会社（齋藤記念病院グループ）
TEL・FAX/048-299-7087